



〒108-0071

港区白金台

3-7-1

3443-5666

<https://shirokanedai-kg.minato-ky.ed.jp/>



「保育体験」中の保護者に、ダンスを見てもらう4歳児。



運動会のリハーサルを全園児で行いました。

*文部科学省HP
「幼児期の終わりまで
に育てほしい姿」



「保育体験」の紹介

園長 佐々木 勝世

本園では9月から10月にかけて、保護者が丸一日、先生として学級で過ごす「保育体験」を4歳児学級で実施しています（希望制です）。担任のサポートをしながら、登園から降園までの園生活を体験していただくことを通して、子どもたちの実態や園の教育に対する理解を深めていただいています。実際に体験した保護者の声をいくつか紹介させていただきます。

- ・それぞれの子が自分でやりたいことを見つけて楽しんでいる姿が見られて、園長が保護者会で言っていたことがよく分かりました。
- ・遊具を順番に使ったり、譲ったりしていて、思いやりの気持ちを感じられました。
- ・けんかをして、すぐに仲直りできるのがすごいなと思いました。
- ・先生の「待つ姿勢」や、子どもにきちんと理由を説明する姿が印象的でした。子どもたちを信頼しているのが伝わりました。見習いたいと思います。 etc.

子どもたちのありのままの姿や楽しんでいることはもちろん、担任たちの働き掛けの意図や思いまで感じていただけたようで、園長としてうれしく思います。ぜひ皆様も、体験した保護者からより詳しい話を聞いていただけたらと思います。

さて、運動会を直前に控え、子どもたちは元気に運動遊びやダンスに取り組んでいます。前月号で少し紹介した文部科学省が定義する「**幼児期の終わりまでに育てほしい姿**」*と照らし合わせてみると、運動を通して心と体を十分に働かせる「**健康な心と体**」や、友達と関わる中でうれしい、くやしいといった多様な感情体験を味わい、友達との関わりを深めていく「**協同性**」などの育ちが見て取れます。運動会ではぜひ、子どもたちの楽しんでいることや頑張り、成長を間近で感じていただきたく存じます。

<11月の指導のねらい>

3歳児

- 友達と触れ合い、遊ぶことを楽しみながら、自分の思いを動きや言葉で表す。
- 着替えや片付けなど、身の回りのことに自分から取り組み、できた喜びを感じる。
- 秋の自然に触れ、木の実や落ち葉などで遊ぶ楽しさを感じる。

4歳児

- 自分の思いを伝えようとしたり、相手の考えを聞いたりしながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
- 学級の友達と過ごす喜びを感じ、生活に必要なことに進んで取り組もうとする。
- 落ち葉や実、栽培物など自然物に関心を持ち、触れたり集めたりして遊びに取り入れることを楽しむ。

5歳児

- 発表会に向けて学級の友達と考えを出し合ったり、互いのよさに気付いたりしながら様々な表現を楽しむ、自分たちで活動を進めていく。
- 遊びや生活の中で簡単な時間の見通しを持ち、友達と声を掛け合いながら準備や片付けに丁寧に取り組む。
- 秋の自然に関わり、気付いたことを伝え合ったり、遊びや活動に取り入れたたりすることを楽しむ。

